

工学研究科のディプロマ・ポリシー

宮崎大学大学院工学研究科では、所定の単位数を修得し、且つ、修士論文審査と最終試験において、学術研究の取組状況と研究成果から、以下に掲げる高度専門技術者としての能力を身につけたことが確認された合格者に対して修士課程の修了を認めると同時に、修士（工学）の学位を与えます。

1. 工学分野の高度専門知識を修得して応用できる能力
2. 自ら課題を探求し、その解決に向けて高度専門知識を活用し主体的に考える能力
3. 研究開発を通じて必要となる日本語や英語によるコミュニケーション能力

工学研究科のカリキュラム・ポリシー

宮崎大学大学院工学研究科工学専攻では、ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）に掲げる資質・能力を備えた人材を養成するため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

【教育課程の編成】

1. ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得するため、専攻共通科目、コース必修科目、コース選択科目、農工連携科目を設置する。
2. 日本語、英語によるコミュニケーション能力を養成するための専攻共通科目を設置する。
3. 工学分野の高度専門知識を修得して応用できる能力を養成するための専攻共通科目とコース必修科目を設置する。
4. 自ら課題を探求し、その解決に向けて高度専門知識を活用し主体的に考える能力を養成するための専攻共通選択科目、コース選択科目、農工連携科目を設置する。
5. 幅広い視野を養成するための専攻共通科目を設置する。
6. 各コースの専門性を深化させるための工学専攻特別研究を設置する。
7. 獲得した知識や技能を統合し、課題の解決と新たな価値の創造につなげていくために、学位論文を作成する工学専攻特別研究を設置する。

【教育内容・方法】

1. 各授業科目について、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法、事前・事後の学習

の指示、ディプロマ・ポリシーとの関連を明記し、周知する。

2. 指導教員、副指導教員、学生の三者間協働作業によって研究履修計画を作成する。

【点検・評価】

1. GPA 制度を導入し、教育の質保証に向けて点検・評価・改善を行う。

2. 成績評価基準・方法に基づき、多様な評価方法を用いて厳格な評価を行う。

3. 学生は自己の学修の振り返りを行い、教員は学生の自己評価に基づいて指導を行う。

4. ディプロマ・ポリシーの方針に基づく学生の学修過程を重視し、在学中の学修成果の全体を評価する。

工学研究科のアドミッション・ポリシー

工学研究科修士課程では、学部教育と連携した専門的かつ先端的な専門技術を修得できる教育を行い、将来、産業界などで活躍できる実践的な応用力を有する高度専門技術者の育成や、博士後期課程進学をめざす人の教育を行っています。

また、求める学生像に示す意欲と能力を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 専門的かつ先端的な高度技術を修得するために必要な専門基礎学力を有する人

2. 自主的積極的に学び、研究意欲のある人

3. 研究開発に必要な日本語や英語の語学力を有する人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多面的・総合的に選抜します。

2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜します。